

平成 2 3 年 度  
笠間市教育委員会外部評価報告書  
( 平成 2 2 年度事業 )

平成 2 3 年 1 1 月

笠間市教育委員会

## 1. はじめに

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨から行うこととされました。また、点検及び評価を行う際、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとしています。

笠間市教育委員会でも、事務事業の点検及び評価を行い、教育行政サービスの質の向上と市民への説明責任を果たすべく、平成22年度の教育委員会事業について点検評価を行い、学識経験者の意見を付して報告するものです。

### <参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 笠間市の教育目標

知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす  
自然や文化を大切にし 郷土を愛する心をつちかう  
豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

## 2 対象事業の選定

点検評価の対象事業は、笠間市総合計画に定める事務事業に基づき、教育委員会が行った主な事業から担当課が抽出した事業を対象としています。

## 3 行政内部評価

抽出した対象事業について、目的・対象・成果等を取りまとめ、必要性・有効性・効率性の観点から各主管課で、一次評価を行い、さらに教育次長が二次評価を行いました。内部評価については、二次評価を記載しています。

## 4 外部評価

外部の学識経験者で構成された「笠間市外部評価委員会」が、各担当課の事業ヒアリングを実施し、評価事業の客観性の検証と改善に対する助言等を行いました。

- (1) 外部評価委員会
- |      |                |
|------|----------------|
| 開催日  | 平成23年10月26日(水) |
|      | 平成23年11月7日(月)  |
| 開催場所 | 教育委員会会議室       |

- (2) 外部評価委員会委員

	氏名	備考
委員長	鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
委員	佐藤 武彦	元教育委員
委員	大月 裕美	図書館協議会委員

## 5. 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会定例会・臨時会の状況

ア. 平成22年度教育委員会 審議案件

議案番号	件名	開催
17	笠間市立学校医の委嘱について	4月定例
18	笠間市障害児就学指導委員の委嘱について	4月定例
19	社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について	4月定例
20	笠間市文化財保護審議会委員の委嘱について	4月定例
21	笠間市体育指導委員の委嘱について	4月定例
22	社会教育主事の資格認定要項について	4月定例
23	笠間市図書館協議会委員の委嘱について	5月定例
24	笠間市立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則について	5月定例
25	笠間市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	5月定例
26	平成22年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	5月定例
27	笠間市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について	6月定例
28	笠間市友部社会体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	6月定例
29	教育委員会委員長職務代理者の指定について	6月臨時
30	教育委員会教育長の任命について	6月臨時
31	平成23年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級（知的障害）において使用する教科用図書について	7月臨時
32	笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱	8月定例
33	笠間市教育委員会後援等に関する事務取扱要綱	8月定例
34	平成22年第3回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	8月定例
36	平成22年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	10月定例
37	笠間市立学校適正規模・適正配置基本計画	10月定例
38	笠間市文化財保護審議会への諮問について	12月定例
39	笠間市英語指導助手就業規則	12月定例
40	笠間市教育委員会一般職非常勤職員任用管理規程	12月定例

1	笠間市教育委員会外部評価報告書について	2月定例
2	笠間市学校給食費取扱規則の一部を改正する規則について	2月定例
3	笠間市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について	2月定例
4	平成23年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	2月定例
5	笠間市幼児教育プランについて	2月定例
6	平成22年度末・平成23年度始め教職員人事異動について	3月臨時
7	笠間市立学校評議員の委嘱について	3月定例
8	笠間市教育相談員の委嘱について	3月定例
9	笠間市教育指導員の委嘱について	3月定例
10	笠間市資料館運営委員の委嘱について	3月定例
11	市史研究員の委嘱について	3月定例
12	笠間市ティーム・ティーチング非常勤講師取扱要綱の一部改正について	3月定例
13	笠間市立学校等嘱託職員任用管理規程の一部改正について	3月定例
14	笠間市指定文化財の指定解除について	3月定例

イ. 平成22年度 教育委員会 報告案件

議案番号	件名	開催
17	笠間市立学校医の委嘱について	4月定例
18	笠間市障害児就学指導委員の委嘱について	4月定例
19	社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について	4月定例
20	笠間市文化財保護審議会委員の委嘱について	4月定例
21	笠間市体育指導委員の委嘱について	4月定例
22	社会教育主事の資格認定要項について	4月定例
23	笠間市図書館協議会委員の委嘱について	5月定例
24	笠間市立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則について	5月定例
25	笠間市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	5月定例
26	平成22年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	5月定例
27	笠間市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について	6月定例

28	笠間市友部社会体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	6月定例
29	教育委員会委員長職務代理者の指定について	6月臨時
30	教育委員会教育長の任命について	6月臨時
31	平成23年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級（知的障害）において使用する教科用図書について	7月臨時
32	笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱	8月定例
33	笠間市教育委員会後援等に関する事務取扱要綱	8月定例
34	平成22年第3回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	8月定例
36	平成22年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	10月定例
37	笠間市立学校適正規模・適正配置基本計画	10月定例
38	笠間市文化財保護審議会への諮問について	12月定例
39	笠間市英語指導助手就業規則	12月定例
40	笠間市教育委員会一般職非常勤職員任用管理規程	12月定例
1	笠間市教育委員会外部評価報告書について	2月定例
2	笠間市学校給食費取扱規則の一部を改正する規則について	2月定例
3	笠間市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について	2月定例
4	平成23年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	2月定例
5	笠間市幼児教育プランについて	2月定例
6	平成22年度末・平成23年度始め教職員人事異動について	3月臨時
7	笠間市立学校評議員の委嘱について	3月定例
8	笠間市教育相談員の委嘱について	3月定例
9	笠間市教育指導員の委嘱について	3月定例
10	笠間市資料館運営委員の委嘱について	3月定例
11	市史研究員の委嘱について	3月定例
12	笠間市ティーム・ティーチング非常勤講師取扱要綱の一部改正について	3月定例
13	笠間市立学校等嘱託職員任用管理規程の一部改正について	3月定例
14	笠間市指定文化財の指定解除について	3月定例

ウ. 平成22年度教育委員会 選挙案件

選挙番号	選挙名	開催
1	教育委員会委員長の選挙について	6月定例

**(2) 教育委員会以外の活動**

各種会議・研修会・学校訪問

平成22年4月 幼稚園入園式及び小・中学校入学式

都市教育長協議会総会，市町村教育長協議会総会

茨城県市町村教育長・学校長会議

5月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会

管内市町村教育長会議，水戸地方教育委員会教育長協議会

第4回笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

6月 茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会

第4採択地区第1回教科書選定協議会

第5回笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

7月 管内市町村教育委員会教育長及び代表校長会議

第4採択地区第2回教科書選定協議会

市町村教育委員会教育委員研究協議会

教育委員会教育施設訪問

第6回笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

8月 地方自治研究講演会

茨城県市町村教育長協議会夏期研修会

笠間市教育研究会研究発表会

9月 小学校運動会，中学校体育祭

管内市町村教育委員会教育長会議

第7回笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

10月 幼稚園運動会

市町村教育委員会教育長会議

11月 市町村教育委員会研究協議会

管内市町村教育委員会教育長会議

- 12月 第1回笠間市立小中学校学区審議会  
 第5回かさま陶芸の里マラソン大会  
 管内市町村教育委員会教育長会議
- 平成23年1月 第48回県下中学校交歓笠間市駅伝大会  
 第2回笠間市立小中学校学区審議会
- 2月 茨城県市町村教育長協議会冬期研修会  
 管内市町村教育委員会教育長会議  
 第3回笠間市立小中学校学区審議会
- 3月 小・中学校卒業式

**(3) 教育委員名簿** (平成23年7月1日現在)

職 名	氏 名
委 員 長	中 庭 秀 樹
委員長職務代理者	平 澤 憲 次
委 員	柴 山 博 光
委 員	井 上 明 美
教 育 長	飯 島 勇



## 6. 評価事業の結果

No.1	サタデーまな Be 講座事業	現行どおり継続
No.2	サマースクール事業	現行どおり継続
No.3	花によるまちづくり事業	現行どおり継続
No.4	高齢者芸術鑑賞事業	改善し継続
No.5	全国高等学校アームレスリング選手権大会	改善し継続
No.6	学校体育施設開放事業	現行どおり継続
No.7	理科支援員等配置事業	現行どおり継続
No.8	心の教室相談員活用事業	現行どおり継続
No.9	適応指導教室事業	現行どおり継続

**(サタデーまなBe～)・(まなBe～わんぱく)・(まなBe～土曜塾) 事業**

公 民 館

**1. 目的**

小学生を対象とした、体験学習等による知識や技能の習得を目的としている。

**2. 内容**

笠間市内の各小学校の児童がいろいろな体験活動に参加して、多くの友達とふれあい仲間づくりをする講座である。6月から2月にかけて月1回の土曜日に実施しており、継続した仲間づくりができ、物づくり、理科の実験、移動学習などさまざまな体験学習になっている。

**3. 実施状況**

小学校1年生から6年生を対象にした講座。

時期は6月から2月にかけて月1回土曜日に実施した。

- 笠間公民館 8講座 定員30名 延べ参加人数118名  
実施内容 レクリエーション・飛行機をつくって飛ばそう!・茶道教室・地震体験・ご飯が大切なわけ・おもしろ理科先生・日本の行事を知ろう・レクリエーション
- 友部公民館 8講座 定員30名 延べ参加人数177名  
実施内容 レクリエーション・パン作り・消防体験・おもちゃ博物館・バルーンアート体験・ピザ&キャンドル作り・おもしろ理科先生・まゆ玉人形づくり
- 岩間公民館 7講座 定員30名 延べ参加人数174名  
実施内容 レクリエーション・おもしろ理科先生・不思議!くるくるレインボーを作ろう・まが玉づくりにチャレンジ・パン&クッキーづくり・つくばエキスポセンター&筑波宇宙センター見学・自分で簡単に作れる!おいしいおやつ

**4. 内部評価**

市内の各小学校の1年生から6年生までの児童と一緒に学習し、学び合うことが、人間性の成長につながり、現行どおり継続実施すべきである。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し、継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○事業の必要性は、よく了解できた。各事業実施後、アンケート等を行って、参加者の意見・要望等を聞き、次年度以降の改善に努めてはどうか。他の市町村でどのような内容で事業を展開・継続しているのかを調査（パンフレット等を収集して）、いい知恵があれば取り入れることも必要であろう。参加者の往復に交通事故等がないように学校との連携をより密にしておく方がよいと思う。

○県内の多くの市町村において実施されている事業で、笠間市内の各小学校の児童を対象とし、学校や学年の枠を超えた体験学習の場であることから必要性・有効性からも現行どおり継続実施が妥当と認められる。なお、募集方法をさらに工夫するなど一層の効率性の向上を期待します。

○児童たちの体験学習の場として、仲間作りの場として、有効だと思われます。1年生～6年生が一緒に活動することは、兄弟姉妹の少ない最近では貴重な時間になると思います。それぞれの講座の中で工夫されていると思いますが、たて割りのグループ編成をするなど、異学年で活動する利点を生かして欲しいと思います。

「まなBe」を使った統一性のある事業名にしてもいいのか…とも思いました。

参加者、保護者の声を生かした、学校ではできない体験の場になることを期待します。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

アンケートを実施し、参加者の要望等を活かしつつ、また、他市町村での実施状況を把握するなど今後、企画内容について、創意工夫していきます。

募集方法については、定期講座の募集とは別に、3館で有効な方法を検討し統一した募集に努めていきます。

児童の送迎については、保護者をお願いをしておりますが、児童だけの場合は、公民館から帰りの寄り道はしない等、安全面での注意を促し、今後も保護者との連携を図り、安全の確保に努めていきます。

事業名称については、「まなBe～」を使った統一性のある事業名にするかを検討していきます。

## サマースクール事業

公民館

### 1. 目的

夏休み中に、学校以外の体験を通して、異なる年齢の友だちや他の地域と交流するなかで、想像力や精神面を培い、仲間づくりをすることを目的としている。

### 2. 内容

笠間市内の各小学校の児童がいろいろな体験学習を通して、学び合い、ふれあい、仲間づくりをすることは、人間性豊かな成長につながる。

体験学習・図工教室・自然観察などの講座を各公民館で企画し、3館合同による募集案内を行い、市内全域から自分が学びたい講座へ参加希望が多数あり、夏休みの貴重な思い出になっている。

### 3. 実施状況

平成22年度実績

小学校1年生から6年生を対象にした講座。夏休み期間

○ 笠間公民館 4講座 延べ79名の参加

戦国武将体験・スーパーマーケット見学・国際交流体験・図工教室の体験型講座

○ 友部公民館 4講座 延べ115名の参加

県警本部見学・お菓子工場見学・おもしろ理科先生・松ポックリの子供たち

○ 岩間公民館 4講座 延べ119名の参加

霞ヶ浦の自然観察・美しい貝殻工作・おもしろ理科先生・お菓子工場&栃木県立博物館見学

### 4. 内部評価

市内の各小学校の1年生から6年生までの児童と一緒に学習し、学び合うことが、人間性の成長につながり、現行どおり継続実施すべきである。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し,継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○事業の必要性については、了解できた。「サタディまなBe～事業」と同様、参加者の意見を聞くためのアンケートを実施してはどうか。また、笠間・友部・岩間各公民館で事業内容の相互検討を行い、より効率的な運営ができるよう努められたい。

○夏休み期間中における市内各小学校の児童を対象とした事業であり、学校や学年の枠を超えた交流体験の場であることから、必要性・有効性も高く現行どおり継続実施すべきと認められる。なお、事業実施に当たってはコスト的感觉を常に考慮し、さらなる効率性の向上に努めていただきたい。

○「学校以外ならではの体験」は、有意義なものと思われまふ。サタデーまなBeに継続して参加できない児童にとって、単発での参加が可能ということは魅力のひとつになると思ひます。

人気の講座は、1/3～1/4しか参加できない由。次年度にも開催するとか、2回実施するとか、できるだけ希望を受け入れてあげるような対策をとっていただきたいと思ひます。

「サマースクール」と名称をつけているのですから、もう少し「夏休みならではの」の企画があつてもよいように思ひました。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

アンケートを実施し、参加者の要望等を活かす講座内容に工夫するとともに、現在の参加者年代での趣向等を考慮しながら、3公民館で企画内容を検討し、夏休みならではの体験学習になるようにしていきます。

また、人気のある講座については、2回実施したり、3館それぞれ別日程で実施するよう改善していきます。

## 花によるまちづくり事業

生涯学習課

### 1. 目的

環境美化意識や自然を愛する感性を育むとともに、花づくりをとおした地域コミュニティの再生・活性化を図ることを目的に実施。

### 2. 内容

子ども会・地域コミュニティグループ・敬老会・小中学校などの希望する団体へ花の苗を配布し、花づくり（花壇づくり）に取り組んでもらい、取り組みが特に顕著な団体やグループを表彰している。

### 3. 実施状況

○春の花苗配布

【配布希望団体】

笠間地区 31 団体  
友部地区 59 団体  
岩間地区 46 団体  
公共施設 45 箇所

【配布花苗数】

マリーゴールド 18,100 本  
サルビア 18,100 本

○秋の花苗配布

【配布希望団体】

笠間地区 28 団体  
友部地区 52 団体  
岩間地区 35 団体  
公共施設 18 箇所

【配布花苗数】

パンジー 15,100 本

### 4. 内部評価

地域内での住民同士や世代間の交流が希薄化しているなか、市民が地域において様々な生涯学習活動を実施することにより、地域での交流活動を通じた住民の相互理解を深めることができるとともに、生涯学習活動の推進に繋げることができている。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○事業の趣旨はもつともで継続の必要性は十分認める。予算も倍増されて大変結構なこと。ただ、今後とも全額無料であるということはどこまで続けられるのか疑問。市民の自主的な美化意識を高めるのにはどうすればよいか、さらに検討してほしい。

○年齢層を問わず、豊かな感性を育むとともに郷土を愛する心を培い、地域コミュニケーションの活性化に大きく貢献している事業と認められる。ただし、予算の増加が見込めない現状において、種からの育苗など市民等の協力を得ながらコストダウンに努めつつ、事業の拡大への創意工夫に配慮いただきたいと思います。

○花づくりを通じた街づくりは、成果が目に見える事で効果的だと思われまます。"無料配布だから育てる"ということにならないような、継続的な事業になる工夫をしていただければと思います。

限りある財源の中で、いかにして花づくりを通じた街づくりができるか。住民と共に考え、活動していき、地域住民だけでも実施していけるような事業に育っていくことが望まれます。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

委員の指摘のとおり、逼迫する財政状況の中、無料配布がいつまで、継続できるか否か、また、無料配布が本事業の目的達成手段として効果的な方法であるか等を含め検討した結果、平成 24 年度においては、年 2 回配付（春・秋）していた花苗を年 1 回（春のみ）とし、秋以降の花壇づくりは、花苗購入も含め、地域や各団体で自主的に管理してもらうこととした。

また、平成 23 年度に実施した花壇づくり講習会は 24 年度も継続実施し、市民の美化意識の高揚に努めて行くこととしている。

なお、25 年度以降の事業形態は確定していないが、花苗無料配布の是非・市民の美化意識の啓発方法等を、更に検討して行きたいと考えています。

## 高齢者芸術鑑賞事業

生涯学習課

### 1. 目的

笠間日動美術館（春風万里荘を含む）は、開館以来笠間市の芸術、文化振興に多大な貢献をしてきており、県内外からの来訪者も多く「文化交流都市笠間」推進の大きな役割を担ってきた。

市民への文化振興を図る一環事業として、比較的時間に余裕のある65歳以上の市民を対象に作品を鑑賞し、芸術文化への関心を高めることを目的とする。

### 2. 内容

- 1、市内に住所を有する65歳以上の市民を対象とする。
- 2、笠間日動美術館及び春風万里荘における常設展・企画展が無料で鑑賞できる。
- 3、住所を有する者及び65歳以上の者の確認は、住民基本台帳カード、自動車運転免許証、パスポート、保険証等により行う。

### 3. 実施状況

- 1、契約期間は4月1日～翌年3月31日の1年間とする。
- 2、芸術鑑賞委託料として、業務完了報告書により（前期・後期分）に分けて年間120万円を支払う。

【平成22年度実績】

入館者数	855人
（内訳）笠間日動美術館	557人
春風万里荘	298人
一人当たりの金額	1,403円

※ 地区別入館者数及び証明確認明細者数については、別紙資料参照のこと。

### 4. 内部評価

市民への文化振興を図る一環として、現在高齢（65歳以上）者を対象に実施しているが、高齢者だけではなく、多くの一般市民の方にも芸術に興味を持っている方もおり、高齢者に捕われず幅広い方にも芸術鑑賞していただけるよう市民芸術鑑賞事業として今後は実施したい。また、予算上制限があるので、高齢者・一般市民の方も、企画展のみとする。



## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 5 非常に高い	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続
<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続
<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 3 どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小
<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 2 あまり高くない	<input type="checkbox"/> 民間に移管	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 1 非常に低い	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
						<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 事業完了

○笠間市ならではの事業であり、高齢者に芸術鑑賞の機会を提供したいという趣旨も理解できる。今後も継続してほしいと思う。一方、小・中学生など若い人達にもそうした機会を与えてほしいと思うので、そのための工夫もお願いしたい。なお、友部や岩間地区の人々にどうして足を運んでもらえるかについても要検討。

○政策としての65歳以上の高齢者に対する無料入館措置であるが、導入に当たっての経費を尊重しつつも、高齢者や児童を帯同する家族、グループなども格安入館ができるなどの枠の拡大を図る改善が望まれる。

また、現行どおり継続実施する場合にあっては、広報のあり方、交通の便の確保など利用しやすい環境の整備などに十分配慮した運用に努めていただきたいと思います。

○市民の芸術文化への関心を高めるための一つの方法としては、高齢者芸術鑑賞としてよい事業だと思います。ただ、高齢者を無料にするのも一つですが、小・中学生から本物の芸術に触れさせる機会を多くすることも、長い目で見れば大きな効果が期待できるような思います。

一般市民に広げていくためには、例えば1回行くごとにスタンプを押してもらい、3個 or 5個で1回無料…というようにして、継続的に足を運んでもらえるような事を考えてもよいのではないかと思います。

地域格差をなくす工夫、多くの市民に来ていただくためのPRの工夫等で、対策を高齢者だけでない事業にして頂ければと思います。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

この事業は、平成22年度より高齢者に芸術鑑賞の機会を提供するという趣旨で事業を実施していますが、地域により利用実績に格差が生じているため、利用度を高めていく方策として、現在実施している広報・週報で事前PRに努めるとともに、高齢者クラブの団体を利用して、チラシを配布し、また、交通の便については市内周遊バスなどの利用を進めていきます。

今後については、高齢者だけではなく家族・グループ等の利用者の拡大を図るため、関係機関と調整協議し、多くの市民に本物の芸術に触れる機会を提供したいと考えています。

## 平成22年度高齢者芸術鑑賞事業実績報告

○事業期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日

○入館者数 855人

(内訳) 笠間日動美術館 557人

春風万里荘 298人

○地区別入館者数

地区	笠間日動美術館	春風万里荘	合計
笠間地区	375人	205人	580人
友部地区	164人	82人	246人
岩間地区	18人	11人	29人
合計	557人	298人	855人

○証明方法

方法	笠間日動美術館	春風万里荘	合計
運転免許証	180件	98件	278件
健康保険証	365件	200件	565件
住基カード	5件	0件	5件
パスポート	1件	0件	1件
その他	6件	0件	6件
合計	557件	298件	855件

## 全国高等学校アームレスリング選手権大会

スポーツ振興課

### 1. 目的

高校生を対象に青少年の健全育成と地域の活性化を図ると共に、全国に「笠間市」を発信していく。

### 2. 内容

全国の高校生を対象に、日本アームレスリング連盟と市が協力し運営する全国大会で、大会は男女別に実施する。

部門は下記の全15部門となっている。

男子個人の部

体重60Kg以下、70Kg以下、80Kg以下、80Kg超級の8部門（右腕・左腕別）

女子個人の部

体重55Kg以下、55Kg超級の4部門（右腕・左腕別）

団体の部

男子2部門（右腕・左腕別）、女子1部門（右腕のみ）の3部門

### 3. 実施状況

日時 平成22年10月24日（日）

場所 笠間市民体育館

参加者 39校 94名

参加者地域内訳

北海道 1名、東北12名、関東67名（県内60名）、中部11名、近畿1名、四国1名、九州1名

参加校名は別紙のとおり

### 4. 内部評価

地域活性化センターの認定事業になっており引き続き実施していく。（平成26年度まで補助）アームレスリングは競技自体の普及度が低く、参加者の規模拡大が困難な状況ではあるが、PRの手法を検討していく必要がある。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input type="checkbox"/>	非常に高い	<input type="checkbox"/>	非常に高い	<input type="checkbox"/>	非常に高い	<input type="checkbox"/>	現行どおり継続
<input type="checkbox"/>	ある程度認められる	<input type="checkbox"/>	ある程度認められる	<input type="checkbox"/>	ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	改善し,継続
<input checked="" type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input checked="" type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input checked="" type="checkbox"/>	どちらとも言えない	<input type="checkbox"/>	休止又は縮小
<input type="checkbox"/>	あまり高くない	<input type="checkbox"/>	あまり高くない	<input type="checkbox"/>	あまり高くない	<input type="checkbox"/>	民間に移管
<input type="checkbox"/>	非常に低い	<input type="checkbox"/>	非常に低い	<input type="checkbox"/>	非常に低い	<input type="checkbox"/>	廃止
						<input type="checkbox"/>	事業完了

○知名度の低いスポーツの振興を図りたいと市当局が熱心に取り組んでいることは大いに評価できるが、それも国の補助が在ってこそで、それが切れた時点では見直しが必要だろう。26年度までは継続して差し支えないと思うが、審判員や選手たちにアンケートを取り、それに基づいて改善できるところは改善していくことを望みたい。

○高校生の健全育成及び地域の活性化や笠間市の知名度の向上については一定の評価ができることから、大会参加校や参加人数の増加について創意工夫のうえ、当面は事業を継続すべきと思われる。

なお、(財)地域活性化センターのスポーツ拠点づくり推進事業の支援終了時点で、参加人員等の推移を踏まえながら、休止又は廃止を含めて、再検討すべきと思われる。

○アームレスリング自体がマイナーな競技だけに「大会」という場を提供することは、その道に励んでいる人達にとっては良い大会であろうと思われませんが、補助が終了した時点で、笠間市が独自に実施する事業かどうかは、参加団体数、参加人数も考えても必要性に疑問が残ります。連盟との協力が不可欠で、笠間市だけでその任を負うことではないように思います。

「競技」としてではなく、気軽に参加できるスポーツとしてイベント的に定着させる事から小学生や中学生に気軽に親しんでもらい、広がりにつなげていくこともできるのではないのでしょうか。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

高校生の健全育成及び地域の活性化や笠間市の知名度向上等については一定の評価をいただきましたが、現在補助を受けている「スポーツの拠点づくり推進事業」の目的の一つである継続的な大会開催を達成するため事業認定後10年となる、平成26年度までは実施していきます。また、参加者の増員を図るためには日本アームレスリング連盟の組織力を活用した参加者募集の協力についての強化を図っていきたい。

# 出場高等学校一覧

北海道	北海道富良野緑峰高等学校	茨城県	茨城県立中央高等学校
青森県	青森県立青森工業高等学校	茨城県	茨城県立土浦工業高等学校
秋田県	秋田県立大館工業高等学校	茨城県	茨城県立東海高等学校
岩手県	岩手県立一関工業高等学校	茨城県	茨城県立鉾田農業高等学校
岩手県	岩手県立軽米高等学校	茨城県	茨城県立真壁高等学校
山形県	日本大学山形高等学校	茨城県	茨城県立水戸農業高等学校
福島県	福島県立本宮高等学校	茨城県	茨城県立緑岡高等学校
福島県	聖光学院高等学校	茨城県	岩瀬日本大学高等学校
栃木県	栃木県立小山南高等学校	茨城県	鹿島学園高等学校
栃木県	栃木県立聾学校	茨城県	水戸短期大学附属高等学校
千葉県	千葉県立浦安高等学校	茨城県	茨城県立笠間高等学校
千葉県	千葉県立関宿高等学校	茨城県	茨城県立友部高等学校
埼玉県	埼玉県立草加東高等学校		
東京都	関東第一高等学校		(順不同)
神奈川県	神奈川県立市ヶ尾高等学校		
静岡県	静岡県立引佐高等学校		
愛知県	東海高等学校		
三重県	近畿大学工業高等専門学校		
三重県	日生学園第二高等学校		
兵庫県	神戸第一高等学校		
徳島県	徳島県立鳴門高等学校		
福岡県	第一高等学院 小倉校		
茨城県	茨城県立明野高等学校		
茨城県	茨城県立石岡第一高等学校		
茨城県	茨城県立磯原郷英高等学校		
茨城県	茨城県立岩瀬高等学校		
茨城県	茨城県立太田第二高等学校		

## 学校体育施設開放事業

スポーツ振興課

### 1. 目的

笠間市における社会体育の普及のために、学校体育施設を学校教育に支障の無い範囲で、幼児、児童生徒その他一般市民の利用に供する。

### 2. 内容

笠間市内に在住、在勤、在学するものが概ね10人以上の団体に対して、市内小中学校の体育施設（体育館・グラウンド・武道場・相撲場等）を学校教育に支障の無い範囲で開放し、市民の生涯スポーツや健康増進の場として供している。

### 3. 実施状況

・実施校（市内21校）

小学校14校 中学校7校

・開放施設

グラウンド・体育館 21校（全校）

武道場 2校（友中・友二中）

相撲場 3校（友中・笠中・笠小）

・開放時間

開放学校ごとの運営協議会において協議決定している。特に中学校については部活動に影響が無い時間としている。（下記は基本的な事例であり開放校により多少の違いあり）

小学校 平日16:00～22:00 土日祝 特に制限無し

中学校 平日18:30～22:00 土日祝 早朝8:00まで 夜間18:30～22:00

・利用団体

183団体

### 4. 内部評価

市民の余暇活用、スポーツ振興及びスポーツ少年団活動において、学校施設の利用は大きな効果を上げており、引き続き継続すべき。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し,継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○事業の趣旨はよく理解できたので今後とも継続していくことの必要性は十分認めたい。市民各層が広く参加して活動しているようなので大変結構なことと思う。ただ、事故や怪我などが起こることも考えられるので、その時の迅速な対応や防止策についても事前に検討しておいてほしい。他の委員から出た意見のように今後は受益者負担という面からの検討も必要ではないか。

○青少年の健全育成，市民の健康保持・増進のための事業であり，必要性及び有効性は非常に高いと思われる。また，体育館等の施設も複数団体が同時使用するなど効率性も高いことから，現行どおり継続実施すべきと認められる。

なお，電灯料等については，受益者の実費負担等について考慮すべき時代と思われるので，検討を願います。

○高い利用率で，有効に活用されている事がうかがわれます。

「学校」という子ども達の学びの場ですので，その施設が利用されることにより，破損等で授業等に支障がでないようにしていただきたいと思います。また，時代的にも，一部受益者負担を考えていく必要もあるのではないのでしょうか。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

事業全体に対し必要性・有効性が非常に高いと評価いただいた事業であり，今後も継続して実施していきます。

継続実施に当たっては，体育施設開放運営協議会の会議において利用ルールやマナーの徹底を図るとともに，受益者負担に関しては，事例の収集や近隣調査等により今後検討していきます。

## 理科支援員配置事業

### 学 務 課

#### 1. 目的

大学（院）や退職教員、地域人材等の有用な外部人材を、理科支援員として市内小学校5，6年生の理科授業等に配置し活用することで、理科の授業における観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図ることを目的とする。

#### 2. 内容

##### (1)配置する学校

- ・市内小学校(13校)

##### (2)対象学年及び教科

- ・5，6年生の理科を原則とする。ただし、学校の実態や課題に応じて他の学年も対象可とする。

##### (3)理科支援員のサービス監督等について

- ・市一般非常勤職員として雇用する。理科支援員のサービスについては別「理科支援員の手引き」による。

##### (4)理科支援員の業務

- ・5，6年生の理科授業における学習支援
- ・観察や実験等の実施支援（器具や薬品等の取扱に関する助言含む）
- ・観察や実験等の準備及び片付け
- ・理科室、理科準備室の環境整備
- ・観察や実験等の計画立案や教材開発の支援
- ・観察や実験方法等及び理科授業の進め方についての提言や助言

#### 3. 実施状況

現在市内13小学校において、5，6年の全学級において年間10時間の配置を計画（5月～1月）して実施している。今年度は、昨年度（平成21年度）に引き続き、4人の理科支援員を雇用し、各学校の配置曜日を決め、一人当たり2校から4校を担当してもらい事業を進めている。支援員は、教員免許状や気象予報士、放射線取扱主任者、作業環境測定士等、教育や理科学習に関わる専門的な技能や資格を有しており、小学校における理科学習支援に貢献し、小学校からの評価も高い。

なお、23年度は、配置時間を1.5倍に増加し、より一層の学習支援の充実を図っています。

#### 4. 内部評価

観察・実験の充実を図り、発展的な授業内容の教材を取り入れ、授業の質の向上や教育の質の向上につながる授業であり、今後も継続実施する。



## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し、継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○事業の趣旨は自由分理解できるもので、継続すべきである。予算上認められているのであればさらに支援教員の増加が望ましい。小学校上級ぐらいの時に理科のおもしろさを体験的に理解できたことで児童の将来に大きな影響を与えることにもなると考える。

なお、「目的」の末尾にある「教員の資質の向上を図る云々」の文言は、適切を欠く表現ではないか。

○興味を持ち、理解し易い理科の観察や実験の充実を図るいわゆる授業の向上事業であり、必要性・有効性は非常に高いと認められる。授業準備（実験準備）や実験器具等の片付けの面からも担任教員の負担軽減にもつながり、効率性は非常に高く、現行どおり継続すべきと認められる。

○観察・実験が充実し、理科離れを止める一手段としては、有効であると思われまます。授業の充実が図られることは認めますが、（文章表現上の事だとは思いますが）「教員の資質向上」という文言は「？」と思います。

担当教員と支援員との事前の綿密な話し合いのもとに授業が実施されることを望みます。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

平成 21 年度は、支援員と理科専門の講師が配置され、模擬授業等が展開され教員の資質向上が図られました。

しかし、平成 22 年度からは、理科専門講師の配置がなくなり支援員の配置だけとなったが、事業の趣旨文言に「教員の資質の向上を図る」という文言が残ってしまった。よって現在の支援員の業務内容を踏まえ、「教員の資質の向上を図る」という文言を削除します。

事業については、支援員と教員が綿密な事前打合せを行い、理解し易い理科の授業を展開していきます。

## 心の教室相談事業

学 務 課

### 1. 目的

生徒が身近な存在を感じ、ストレスを和らげることができる人材（心の教室相談員）を中学校に配置し、生徒の悩み、不安やストレス等の諸問題の解消を図るとともに、問題行動等の未然防止を図る。

### 2. 内容

- ・笠間市内中学校 7 校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みの相談や生徒指導上の諸問題に対して教職員と連携しサポートする。

### 3. 実施状況

- ・心の教室相談員の配置（2名で対応）  
中学校 1 校あたり \*週 1 日 8 時間勤務（稲田中・岩間中）  
\*週 2 日 各日 4 時間勤務（笠間中・友部中・友部二中）  
\*隔週 1 日 8 時間勤務（東中・南中）  
年間合計 1 6 8 0 時間分配置
- ・年間の相談件数等については別紙

### 4. 内部評価

- ・各中学校において、生徒が気軽に相談できる体制を作っておくことは必要である。また、個別に指導・援助が必要な生徒に対して、各学校の教職員をサポートしながら指導・援助ができた。
- ・今後は、様々な問題を抱える生徒の対応のためにも、相談員の資質向上が必要であり、資質向上のための研修や教育相談関係の資格や専門員を採用していくことも考えたい。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し,継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○現今の社会環境を考えれば当該事業の実施とその継続の必要性高いことは十分理解できる。実施状況を聞くと事業の目的は概ね達成されていると理解でき、今後ともこれがさらに充実されていくことを切望している。そのためには市当局の予算措置についての一層の配慮を願いたい。

○精神的・肉体的にも不安定な時期に当たる中学生を中心に心の安定及び各種兆候への早期対応と問題行動の未然防止を図る事業であり、必要性・有効性は極めて高いと認められる。また、年間500件を超える相談に対し、市内全中学校でバランスよく対応するなど効率性も非常に高いと認められ、現行どおり継続すべきと認められる。

○心に悩みを持つ生徒が気軽に行ける教室としての必要性・有効性は認められると思います。たとえ”つなぎ役”であったとしても、さまざまな悩みに対応する相談員の負担は多大なものであると思われます。年間840時間が少しでも軽減されるような増員があっても良いのではないのでしょうか。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

相談件数の増加、相談内容の複雑化に伴い、相談員の専門性が更に求められる現状です。そのため相談員が研修会等へ参加できる勤務体制を整えるとともに、各種相談機関、関係機関及び学校との連絡体制を整え、今後とも継続実施することにより、様々な悩みや相談に対応していきます。

## 心の教室相談員「教育相談状況」

《相談件数》 ※延べ人数

平成23年3月24日現在

		1年		2年		3年		生徒計	保護者	教員
		男	女	男	女	男	女			
学校の人間関係	友人関係	2	7	6	43	1	14	73	1	0
	異性	0	0	0	5	0	2	7	0	0
	先輩	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	教師	0	1	1	1	0	2	5	0	0
	相談室での生徒の指導	2	2	6	38	28	26	102	0	8
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校生活	不適応	2	4	5	24	5	41	81	2	4
	学習環境, 教室環境	1	0	0	5	6	7	19	0	0
		0	0	0	0	0	7	7	0	0
家庭	親子の関係	0	0	0	2	7	4	13	1	0
	家庭内不和	0	13	0	2	0	5	20	0	0
	兄弟姉妹	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	家庭環境	2	1	3	2	0	1	9	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
自分自身のこと	性格	0	0	0	1	0	4	5	0	0
	友達の自分への評価	0	0	1	0	0	1	2	0	0
	からだの成長に関すること	0	0	0	3	1	1	5	0	0
	性に関すること	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	学業に関すること	0	5	2	1	19	31	58	0	0
	健康に関すること	0	3	3	1	0	0	7	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校以外の人間関係	他の中学校の生徒	0	2	0	0	0	4	6	0	0
	卒業生	0	0	0	1	0	0	1	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	生徒との個別面談(継続で実施)	7	13	17	10	10	16	73	0	0
	部活動に関すること	0	3	1	1	0	0	5	0	0
	進路に関すること	1	0	0	0	0	19	20	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	55	45	140	77	188	522	4	12	

## 適応指導教室事業

学 務 課

### 1. 目的

長期欠席児童生徒を対象に、集団生活への適応を促進させ学校生活へ復帰できるよう援助・指導する。

### 2. 内容

- ・笠間市内 3 箇所（笠間地区：かしのひろば・友部地区：もくせい教室・岩間地区：あたごのひろば）設置している。
- ・通室児童生徒の個々の状況に応じて、集団への適応指導や学習支援、生活への適応指導（体験活動・作業活動）、個別のカウンセリング等教育相談を行う。
- ・通室児童生徒の在籍学校との連絡を行い、学校復帰への支援を行う。
- ・市内小中学校教員等並びに適応指導教室指導員による不登校対策会議等の研修をする。
- ・

### 3. 実施状況

- ・教育指導員等の配置  
笠間地区：かしのひろば（相談員 2 名，指導員 2 名・・・週 3 日勤務）  
友部地区：もくせい教室（指導員 1 名・・・常勤，指導員 2 名・・・週 3 日勤務）  
岩間地区：あたごのひろば（指導員 1 名・・・常勤，指導員 2 名・・・週 3 日勤務）
- ・開設期間及び開設時間  
平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 4 時
- ・平成 22 年度通室児童生徒数  
笠間地区：かしのひろば（中学生 5 名・小学生 1 名）  
友部地区：もくせい教室（中学生 6 名）  
岩間地区：あたごのひろば（中学生 4 名）  
\* 中学校 3 年生の卒業後の進路（県立高校・養護学校・通信制高校進学 3 名，在家庭 1 名）

### 4. 内部評価

- ・通室児童生徒のうち、年度内に学校復帰または、不定期であるが少しずつ学校に登校できるようになった児童生徒が 7 名である。中学校 3 年生の通室生徒 4 名のうち、3 名が希望する学校に進学できた。保護者も含めて個別に対応することができ、学校では対応しにくい部分のサポートができた。不登校は各学校の生徒指導上の課題であり、今後も引き続き設置が必要である。
- ・教室と学校との連携在り方や個々への対応のあり方等、指導員の指導力向上のための研修が必要である。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し,継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○この事業も現今の社会状況を考えれば、当該事業の継続とさらに一層の充実を強く望みたい。「心の教室相談員活用調査事業」と同様、この事業も学校との連携をいかにとっていくか、また保護者との関係をいかに作っていくか、難しい課題もあろうが、これからが今後の努力目標ではあるまいか。

○長期欠席児童・生徒を対象とした学校への復帰という非常に重要な事業であり、在籍する学校での個別対応が困難な中で、現実としてはそれぞれ個別対応が必要であることから必要性・有効性は非常に高いと認められる。また、地域的にもバランスよく開設されており、かつ、学校への復帰児童生徒がみられるなど効率性も高いと認められることから、現行どおり継続実施すべきと認められる。

○長期欠席児童生徒の増加に対応して、学校へ復帰できるような援助対策としての適応指導教室は、必要な場と思います。

小集団の中で、少しでも集団生活に適応できるよう御指導なされる指導員・相談員の御苦勞は大変だと思いますが、学校や家庭・他機関との連携のもと、より多くの児童生徒が学校に復帰できるよう支援される事を願います。

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

長期欠席児童・生徒の増加に対し支援の一助として、適応指導教室と各学校との連携を深めるための定期的連絡会の開催や保護者との教育相談の定期的開催に努め、長期欠席児童・生徒を一人でも多く学校へ復帰できるよう実施してまいります。